

あ と が き

スイスで開催された国際シンポジウム出席の後、9月末の土曜日、チューリッヒからローマに入った。チューリッヒ空港で4（スイスフラン）で飲めたビールがローマ空港では4,000（リラ）である。3桁の違いに暫く戸惑ったが、買い物等を通して解ったことは、全て〇〇サウザンドである。即ち、サウザンドがローマではユニットになっているのである。翌朝、コロッセオに見学に出向いたところ、9時開門と表示してあるにも係わらず、実際に入場できたのは10時であった。ローマの時間感覚とはこんなものかと呆れながら、なぜかじっくりしない1日を過ごした。その翌朝、サマータイムが土曜日で終了していたことを知った。コロッセオでは1時間バイアスされていたのである（開門係の人、ごめんなさい）。

断面積の世界にも、バーンという特殊で便利なユニットがあるし、バックグランドとかアジャストメントと呼ばれるバイアスがあることを思い起こし、独りほくそえんだ。

（井頭 政之）

編集委員会

中川 庸雄（委員長、原研）、浅見 哲夫（データ工学）、井頭 政之（東工大）、
喜多尾憲助（データ工学）、高野 秀機（原研）、中島 豊（原研）、
吉田 正（東芝）

